

都市対抗の選手選考について

都市対抗の代表選考に関わる三重県テニス協会としての基本方針につきましては、本年度の総会（3月15日実施）において見解を述べさせていただいた通りですが、細部について三重県テニス協会理事会にて協議された経緯と選考方法について下記に説明いたします。

三重県テニス選手権大会を都市対抗の予選として位置づけ、一般男女についてはシングルス、ダブルスの優勝者、その他種目についてはダブルスの優勝者を選考してきました。

しかし、東海地区の他県では国体選手に都市対抗への出場を前提とし、一般の選手として出場する選考となってきたことから、一般の部にてポイントがあげられず、三重県が都市対抗への出場がかなわない状況が起こっており、選手からも改善の要望が出ておりました。

昨今、三重県テニス選手権大会には高校生が出場し、高校生が優勝することも多く、その場合、全日本選手権の予選として、県の1位を決定する点では問題はないが、その高校生を除いて、順位付けをする場合、本線の組み合わせ抽選により正確な順位とは限らない状況が生じていました。

また、都市対抗は国体のプレ大会として位置付けられており、選手団の派遣業務は強化委員会が担当すべきものではないかという提起もなされました。

さらに、三重国体の前年（わずか5年後の2020年）に三重県で都市対抗が開催されるため、三重県の県民の方々に、国体のみならず、都市対抗においても、全国での活躍を発信できるよう三重県テニス協会として対策を講ずる必要がある認識しました。

以上のようなことから、協会として、いくつかの対策を順次実施しました。

まず、一昨年より、都市対抗について、選手団の編成、派遣については強化委員会が担当し、東海地区予選会の運営について行事委員会が行うこととしました。

また、予選の方法については、次のような結論となりました。

- ・都市対抗の一般の選手については、国体の2次予選の1位、2位の選手を選考する。
- ・補欠の順位は2次予選の順位通りとする。
- ・男女45歳以上、男子55歳以上の選手選考については、従来通り、三重県選手権のそれぞれのダブルスを予選大会とする。

尚、国体一次予選を全日本選手権の予選とは別大会にすることについて検討しています。